

# NEWS RELEASE

2020年2月18日

NTTアドバンステクノロジー株式会社  
株式会社ネットレックス

## NTT-AT、ネットレックスの物品管理クラウドサービス「Convi.BASE®」を導入 ～RPA ツール「WinActor®」を活用し基幹システムと連携。資産管理業務の効率化を実現！～

NTTアドバンステクノロジー株式会社（以下：NTT-AT、本社：神奈川県川崎市、代表取締役社長：木村丈治）と、株式会社ネットレックス（以下：ネットレックス、本社：東京都中央区、代表取締役社長：佐藤和孝）は、RPAと物品管理クラウドサービスを組み合わせたDX（デジタルトランスフォーメーション）化により、資産管理業務の先進事例を実践しました。

NTT-ATは『自らのDXによる業務効率化』に取り組んでいます。その一環として、700社以上に導入されているネットレックスの物品管理クラウドサービス「Convi.BASE®（コンビベース）」を導入するとともに、NTT-ATが開発・提供中のRPAツール「WinActor®」を活用し、基幹システムと連携することで、これまで専用の読み取り機器が必要だった現物確認の課題を解消し、社内で抱える3万2千件を超える固定資産等、資産管理業務の効率化、業務品質向上を実現しました。

NTT-ATとネットレックスは、本プロジェクトで得た知見を活かし、お客様のDX推進のサポートに取り組みます。

### ■ 「Convi.BASE®」導入の経緯等

NTT-ATは、『自らのDX化』として「WinActor®」を活用し、基幹システムと他サブシステムとのシステム間連携、また既存システムからのデータ移行を6か月間で実施し、基幹システムのクラウド化（SAP S/4 HANA® Cloud Multi-tenant-edition 以下：S/4HC）\*1を実現しました。今回はその『自らのDX化』の一環として、社内統制上の重要項目である資産管理業務の効率化に取り組みました。

具体的には、先に導入した基幹システム S/4HC は資産管理に関する機能が不足していたため、別的手段で実現する必要性がありました。さらに、以下の課題も抱えていたため、早急な対応が必要でした。

- ・資産管理は社内統制上の最重要課題
- ・オンプレミスで導入した既存システムの老朽化に伴うメンテナンス不良の顕在化
- ・専用の読み取り機器の利用スケジュール調整が必要
- ・情報機器類は財務管理のみならずセキュリティ管理との一体かつ効率的な運用が必要

これらの課題の解決に向け、社内のあらゆる物品を管理するオンライン台帳で、資産管理業務に必要な機能を自在に組み合わせることが可能な「Convi.BASE®」を選定し、導入しました。

\*1 NTTアドバンステクノロジー、「SAP S/4HANA® Cloud」導入による基幹システムのクラウド化を6か月で完了  
<https://www.ntt-at.co.jp/news/2019/detail/release190730.html>

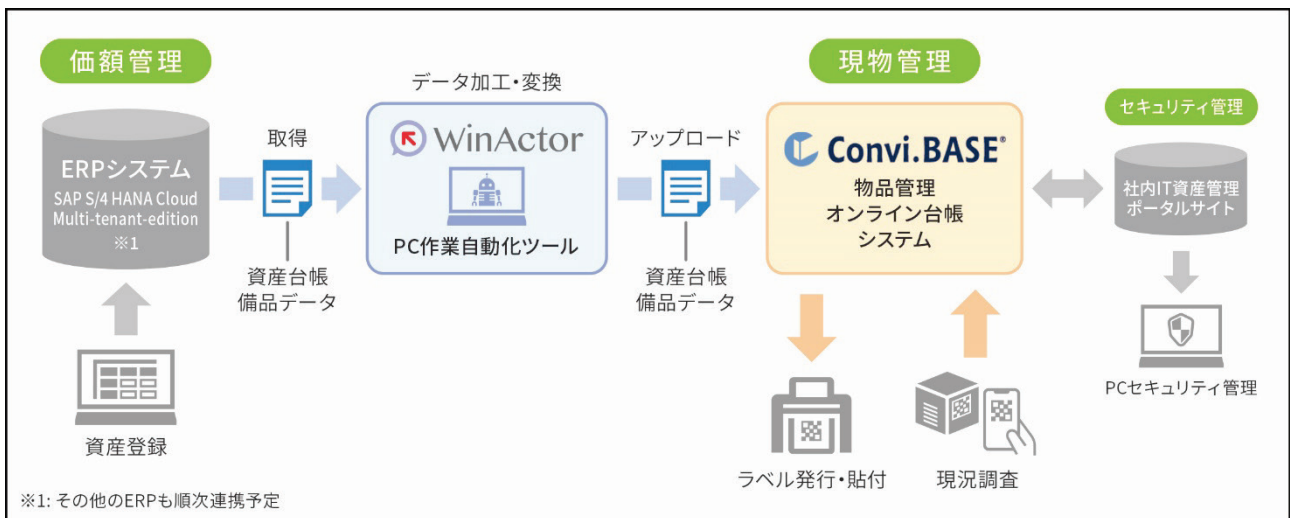
## 【「Convi.BASE®」の主な機能等】

- ・他システムとのデータ連携機能や自由設計の物品管理台帳機能を有している
- ・読み取り端末がスマートデバイス対応可能
- ・クラウドサービスの中で最も操作性、経済性に優れている

## ■「Convi.BASE®」導入イメージ

「Convi.BASE®」の導入および「WinActor®」を活用した基幹システムとの連携により、資産管理業務の効率化を実現しました。

NTT-ATの資産管理業務の流れは以下のとおりです。



## ■今後の展開

NTT-ATとネットレックスは、本プロジェクトで得た知見を活かすとともに、資産管理業務でお困りのお客様のご要望にお応えするため連携を強化し、資産管理業務のさらなる効率化・業務品質向上に貢献します。

## ●「WinActor®」の概要【製品サイト：<https://winactor.biz/>】

「WinActor®」は、NTT アクセスサービスシステム研究所で研究開発された技術をベースに、NTT-ATが商品化した純国産のRPAです。Windows®アプリケーション、Webアプリケーションで行うさまざまな操作を「シナリオ」として記録し、自動化します。定型的な繰り返し作業や、大量データを扱う作業を正確に再現することが可能です。さらに、既存システムに手を加えることなく、これまで人手で行ってきた複雑な操作や、複数システムにまたがるデータの投入を自動化し、効率・品質・コストの大幅な改善につなげることができます。

「WinActor®」は、企業等の働き方改革・業務効率化に貢献するツールとして日本で最も注目されている市場シェア No.1 RPA ツール\*2です。日本企業の業務にマッチした純国産RPAとして、金融業から物流・小売業と幅広い分野の4,500社を超える企業に導入され、大企業のほか中堅・中小企業や全国の自治体にも利用者が増え続けています。

\*2 ミック経済研究所 2019年10月発刊 「驚異的な拡大続く RPA ソリューションの市場動向 2019年度版」より

## ●「Convi.BASE®」の概要【製品サイト：<https://convibase.jp/>】

Convi.BASE®は、IC タグ・バーコード等を利用して社内資産を適正に管理・運用するためのクラウドサービスです。現在 700 社以上のお客様に導入頂いています（2020 年 1 月現在）。

企業活動において使用する各種物品や機器・設備などは、限られた資源の中でより効率的・効果的に運用することが求められます。一方で、IT 機器やバックアップメディア、契約書・重要文書など、セキュリティや内部統制・コンプライアンスなどの観点から不正持ち出しや紛失を防ぐことを強く求められる資産も数多く存在します。

Convi.BASE®は、このような各種物品に IC タグ・バーコード付きの管理ラベル等を貼付することで、「管理台帳」と「社内資産」との強力な紐づけを実現します。iOS デバイスによる棚卸し（現状調査）が可能で、簡単かつ正確に管理対象の状態、状況をマネジメントできます。

## 【NTT アドバンステクノロジー株式会社 会社概要】 <https://www.ntt-at.co.jp/>

NTT アドバンステクノロジー株式会社は、1976 年の創立以来、NTT グループの技術的中核企業として、NTT 研究所のネットワーク技術、メディア処理技術、日本語処理技術、環境技術、光デバイス、ナノデバイス技術などの多彩な先端技術のみならず、国内国外の先端技術を広く取り入れ、それらを融合してお客様の課題を解決し、お客様にとっての価値を提供し続けています。

名称 : NTT アドバンステクノロジー株式会社

所在地 : 神奈川県川崎市幸区大宮町 1310 ミューザ川崎セントラルタワー

設立 : 1976 年 12 月 17 日

資本金 : 50 億円

代表者 : 代表取締役社長 木村丈治

事業内容 : トータルソリューション事業、セキュリティ事業、クラウド・IoT 事業、AI×ロボティクス事業、グローバル事業、知的財産事業

## 【株式会社ネットレックス 会社概要】 <https://www.netreqs.co.jp/>

株式会社ネットレックスは、企業の経営資源であるヒト・モノ・カネ・情報・ファシリティのうち、情報とファシリティをオフィス資産と定義し、その管理に必要なツールやサービスを提供することにより、オフィス資産の有効活用を支援する事業を展開しています。

名称 : 株式会社ネットレックス

所在地 : 東京都中央区日本橋茅場町 3-11-10 PMO 日本橋茅場町ビル 8F

設立 : 2000 年 2 月 14 日

資本金 : 4700 万円

代表者 : 代表取締役社長 佐藤 和孝

事業内容 : 情報システム開発、ソフトウェア業

※「WinActor®」は、NTT アドバンステクノロジー株式会社の登録商標です。

※「Convi.BASE®」は、株式会社ネットレックスの登録商標です。

※記載された会社名及び製品名は、各社の商標または登録商標です。

※掲載のデータは発表日現在の情報です。予告なしに変更されることがございますので、あらかじめご了承ください。

**【本件に関するお問い合わせ先】**

NTT アドバンステクノロジー株式会社  
経営企画部 コーポレート・コミュニケーション部門  
加藤・須貝  
Tel:044-280-8823  
E-mail:inquiry@ml.ntt-at.co.jp

株式会社ネットレックス  
マーケティンググループ  
Tel:03-5643-6743  
E-mail:info@netreqs.co.jp